

「みずから」考え、動くこと！（学校運営協議会「地域清掃」・井荻中）



↑生徒会役員による事前説明の様子

今回紹介するのは「地域清掃」の様子です。
この地域清掃は学校運営協議会、PTA、学校が一体となって実現しました。きっかけは生徒自身の言葉でした。「地域って何だろう？」をテーマに、学校運営協議会委員と生徒会代表と懇談会をしたときに、生徒会役員の皆さんは「自分たちは地域のために何ができるのか。」を考えたそうです。そこで、「地域清掃をやろうよ！」という声上がり、実現に向けて動き出しました。

生徒会役員は自分たちで形にしようと地域清掃に参加してくれるボランティアの募集からはじめました。当初は30人程度を見込んでいたそうですが、最終的に参加者は163名にのぼりました。



生徒の活動に学校運営協議会委員の皆さんも「ぜひ、私たちも…」と一緒に活動に加わるなど、生徒の熱意は周囲の人を巻き込んでいきました。バケツや軍手などの道具の準備、グループ編制、主事さんにゴミ分別について相談するなど、教職員に自分たちで働きかけることで必要な支援を受けながら当日を迎えました。

主体的に活動に参加している生徒は、清掃時だけでなく、説明や振り返りをする場面でも集中力がとても素晴らしく、役員任せにするのではなく当事者としての意識をもって臨んでいる様子が見られました。「みずから」考え、行動することで、多くの生徒、地域を動かすことができること実感する貴重な経験になったのではないのでしょうか。

↓委員の皆さんから労いの言葉と拍手がおくられました。



地域に何ができるかを考える機会になった。

伝えることの難しさを感じた。話をするときを気をつけたい。

自分の役割を考えて取り組めたのがよかった。仕事に就いても生かせそう。

相手に思いが伝わり、行動で返してくれる嬉しさがあった。